

# 令和元年度山口県学校薬剤師会第2回研修会報告

報告者 小林晃子

1. 日 時：令和2年2月2日（日）12：50～16：40
2. 会 場：山口南総合センター
3. 出席者：57人
4. 目 的：薬物乱用防止指導員フォローアップ研修および指導員としての質の向上

## 【研修スケジュール】

### 特別講演「最近の大麻問題から考える薬物乱用防止教室」

講 師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
薬物依存研究部・依存性薬物研究室 室長 船田 正彦 先生

#### 講演内容

薬物の種類・作用などの基本的知識から、大麻が合法的な国があるのはなぜか？合法化することでどんな危険が潜んでいるか？大麻は所持のみが犯罪に問われるのはなぜか？など、子供たちが疑問に思う事や最近の問題について、また、それに見合った薬物乱用防止教室の内容について話があった。

### 講義（1）「薬物乱用の実態とその背景」

講 師：山口県警察本部刑事部組織犯罪対策課 課長補佐 田邊 伸哉 先生  
概 要：山口県内での薬物乱用の実態を元に、再犯率の高い薬物乱用について背景を探った。警察庁ホームページの動画2点の紹介があった（I'm CLEAN）。

### 講義（2）「薬物乱用防止対策への取組及び再犯防止対策への取組について」

講 師：山口県健康福祉部薬務課 麻薬毒劇物班 主任 関 章宏 先生  
概 要：県内の薬物乱用防止対策への取り組み及び再犯防止対策について詳細を説明。薬物乱用防止啓発資材の紹介、「薬物乱用ダメ！ゼッタイ」教室の現状と今後の課題についての話があった

### 講義（3）「薬物乱用防止指導員研修会 復伝」

講 師：山口県学校薬剤師会 学校薬剤師 行友 啓悟 先生  
概 要：広島で行われた中堅薬物乱用防止指導員の研修会に参加した内容を伝授。大麻についてはここ数年使用量が増大しているため特に注意が必要。危険ドラッグの代わりとなっている。薬物乱用防止教室の実践について、子ども達への指導のコツ、年齢による特性の違いに合わせた講義内容、子供たちを取り巻く環境を知る必要性など、話されていた。

質疑応答 16：50 終了

